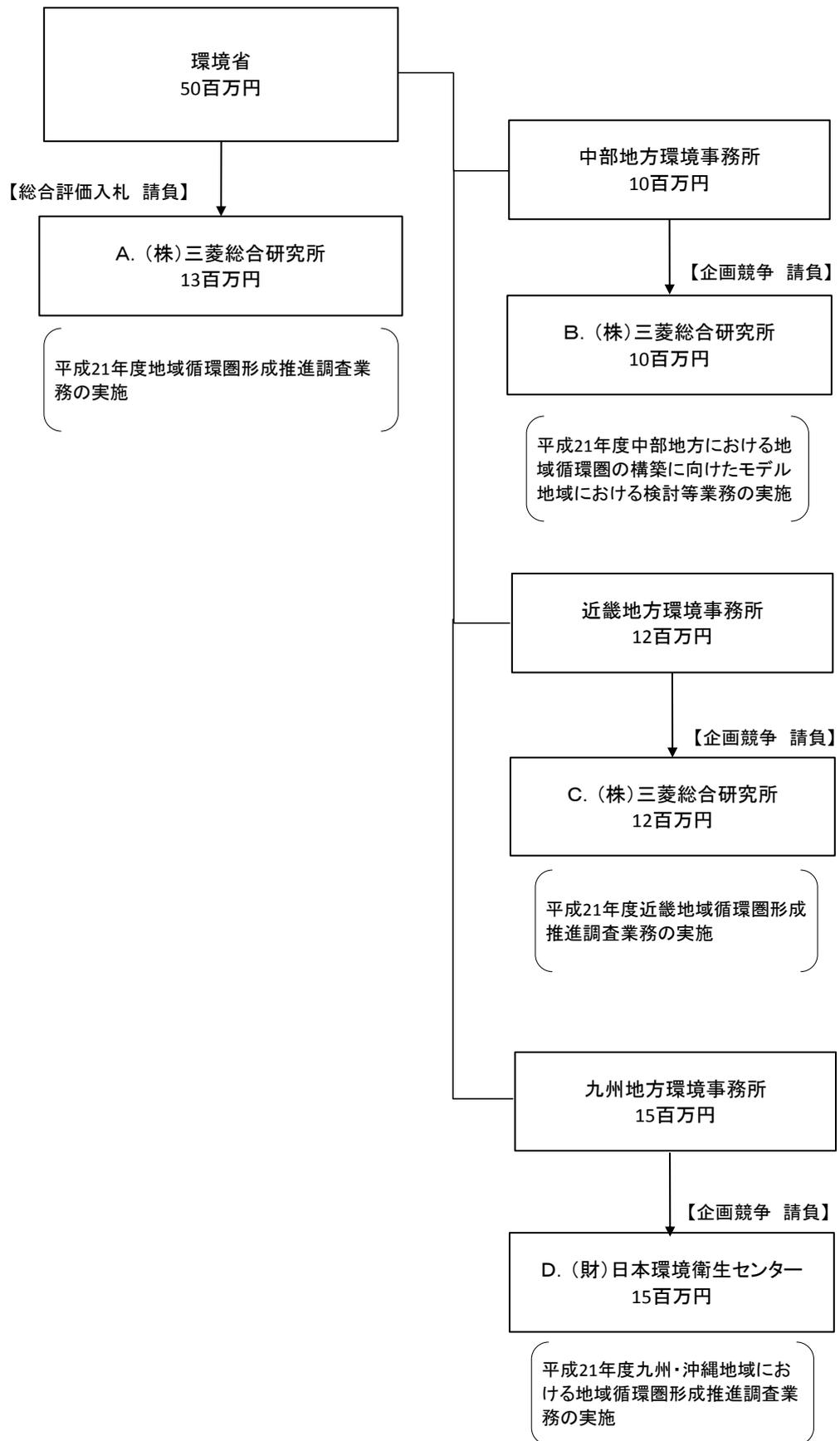


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	低炭素型「地域循環圏」整備推進事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	循環型社会推進室	室長 大森 恵子		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第二十九条・・・『調査の実施』	関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画(平成二十年三月二十五日閣議決定)第5章『国の取組』第2節『国内における取組』4『地域循環圏を踏まえた循環型社会づくり』			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各地域において、構想段階から関係主体が連携・協働し、かつ、地域計画に基づく具体的な事業実施を行うことで、その地域の実情や循環資源の性質に応じた、きめ細かな循環型社会の構築を推進する。また、エコタウン地域を中核とした地域循環圏を構築することで、循環型社会ビジネスの振興も含めた循環型社会の形成促進を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方の実情に応じた地域循環圏の構築に向けて、環境本省や地方環境事務所を中心に、関係府省・地方支分部局、関係都道府県・市町村、地方産業界、NGO/NPO等の関係主体の連携協働により、循環資源の性質に応じて既存のエコタウン等における未利用循環資源の活用・リサイクル製品の流通の活性化を図るなど、複層的な望ましい循環の姿と必要な取組・事業をまとめた地域計画を策定するための調査、検討を行う。					
実施状況	1. 学識者及び関係府省からなる地域循環圏推進形成に向けた検討会を設置し、地域循環圏構築に向けた循環資源や受け皿等の情報把握、望ましい「地域循環圏」のあり方と課題・方策について検討を行った。 《請負契約1件》 2. 3地方環境事務所で協議会の設立、地域計画策定に向けた調査、検討を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	64	64	
	執行額	—	—	50		
	執行率	—	—	77.5%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	50		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	作業過程において、随時、それぞれの請負業者と連絡や打合せを繰り返し行い、また、納品された成果物により、適正に執行されたかの確認を行っている。				
	見直しの余地	引き続き競争性のある契約を実施するとともに、事業の進捗状況を随時把握し、適切な指示を送り続ける事で作業の生産性を高める。また、定例化している作業項目に無駄なものが含まれていないか、全ての一連の作業を体系的に整理点検し、一部でも合理化・効率化できるものがあれば実施する。さらに、事業成果について、各主体の取組に反映されるよう中央環境審議会、3R推進全国大会、「Re-Style」HP等の様々な機会やコンテンツで紹介、情報発信をしっかりと実施していく。				
予算・監視の・所見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
	単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)三菱総合研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	地域循環圏形成推進調査業務	13			
計		13	計		0.00
B. (株)三菱総合研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	中部地方における地域循環圏の構築に向けたモデル地域における検討頭業務	10			
計		10	計		0.00
C. (株)三菱総合研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	近畿地域循環圏形成推進調査業務	12			
計		12	計		0.00
D. (財)日本環境衛生センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	九州・沖縄地域における地域循環圏形成推進調査業務	15			
計		15	計		0.00
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0.00
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0.00